

平成30年度 事業実績、決算

I. 事業実績

第3次食育推進プラン共通施策「食育への理解と関心を高める」に基づき、市民の食育への理解や関心を高めることを目的に、食育フェスタの開催や郵送、メール配信による食育に関する情報発信を行った。

1. 食育推進会議の開催

第3次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行った。

時期	内容
平成30年8月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業実績、決算、監査 平成30年度事業計画(案)、予算(案) 第3次プランに基づく事業計画

2. くるめ食育フェスタの開催

市民への食育推進のシンボルイベントとして「くるめ食育フェスタ2018」を開催。市民の食育への関心の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践できるよう啓発を行った。

日 時：平成30年11月10日(土)、11日(日)

※第44回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

来場者：68,000人(10日33,000人、11日35,000人)

【相談・展示コーナー】

出展団体	内容
子ども食育部会	子供向け食育クイズと簡単おやつ／「子どもたちに食べさせたい料理」の冊子配布など
食と健康部会	「のぞいてみよう！食べ物のなぞ」食育クイズ
地産地消部会	催し広場 地産地消推進店通りの設置(7店舗)
食の循環部会	生ごみリサイクルから元気野菜づくりパネル、無駄なく使いっきりレシピなど
久留米信愛短期大学	フードデザイン学科の食育活動等のポスター展示、学生考案レシピ
久留米市栄養教諭等研究会	お箸の持ち方、久留米産野菜の紹介、朝ご飯の重要性などの紹介
MOA健康生活ネットワーク	自然農法農産物の展示、MOA健康生活ネットワーク活動紹介など
久留米市食品衛生協会	手洗いチェッカーを使った手洗い体験
久留米ヤクルト販売(株)	腸とウンチのクイズに挑戦！、ヤクルト試飲配布



(食と健康部会)



(子ども食育部会)



(地産地消部会)



(食の循環部会)

【体験コーナー】（コーナー数：14、総参加者数：415名）

【体験コーナー①】

	開始	題名	担当	参加人数
10日 (土)	11:00	久留米のお米でおにぎらず作り	久留米市産米推進協議会	32組 61名
	13:00	久留米産そば打ち体験	農事組合法人山辺の里	8組 15名
	15:00	フライパンを使ったスイートポテト作り	スローフード協会筑後平野	12組 41名
11日 (日)	10:30	みそまる作り	スローフード協会筑後平野	24名
	12:00	手作りサラダチキンとドレッシング作り	スローフード協会筑後平野	12組 27名
	13:30	盆栽教室	鳥飼盆栽部会	20名
				188名

【体験コーナー②】

	開始	題名	担当	参加人数
10日 (土)	10:30	野菜の皮・芯・まるごと使いいきり！ ふりかけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	20名
	11:50	米粉ちぢみ作り体験	久留米市食生活改善推進員 協議会	10組 30名
	13:10	野菜の皮・芯・まるごと使いいきり！ ふりかけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	21名
	15:00	ふな焼き作り体験	NPO法人栄養ケアちっこ	38名
11日 (日)	10:30	身近な薬草と薬草茶の体験	スローフード協会筑後平野	20名
	11:50	お団子作り体験	久留米市食育推進会議 子ども食育部会	12組 30名
	13:10	お豆腐作り体験	スローフード協会筑後平野	12組 32名
	14:30	食パンで出来るお手軽ラスク作り	スローフード協会筑後平野	12組 36名
				227名



(お団子作り体験)



(ふりかけ&ベジブロス作り)



(お豆腐作り体験)

3. 「食育友の会」食育啓発事業

- ・ イベントや食育に関する情報提供（郵送 2 回、メールマガジン 12 回）
※食育友の会会員 平成 31 年 3 月 31 日末現在 256 人（前年比－11 人）

4. 職場への食育啓発

- ・ 毎月 19 日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、情報発信を行った。
（食育友の会、小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール）
- ・ 「食育通信」を商工政策課が発行している産業ニュース（メールマガジン）で送信し、市内約 2,000 事業所向けに食育推進の啓発を行った。
- ・ 久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として、早く帰宅して家族との食事を楽しむことを呼びかける取組を行った。

Ⅱ. 平成30年度食育推進会議決算

(収入)

(単位：円)

項目	H30予算	H30決算	比較増減	内 訳
市補助金	2,223,000	2,221,217	▲ 1,783	1,783円を市へ戻入
雑入	0	2	2	預金利息
合 計	2,223,000	2,221,219	▲ 1,781	

(支出)

(単位：円)


項目	H30予算	H30決算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	73,000	56,045	▲ 16,955	会議 1 回 (謝金等)
事業推進費	2,150,000	2,165,174	15,174	食育フェスタ (開催費)
合 計	2,223,000	2,221,219	▲ 1,781	

監 査 報 告 書

久留米市食育推進会議の平成30年度事業ならびに運営について、平成30年度事業実績、及び、決算に基づき出納簿、領収書、その他関係書類を監査したところ、その内容については適正に処理されていることを報告します。

久留米市食育推進会議会長 中島 年隆 殿

令和 元年 7月 16日

監事 古賀シズ子 

令和 元年 7月 17日

監事 甲島誠治 

令和元年度 事業計画（案）、予算（案）

I. 事業計画（案）

1. 食育推進会議の開催

第3次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行う。

時 期	内 容
第1回 令和元年8月22日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業実績、決算 ・令和元年度事業計画（案）、予算（案） ・食育推進プランの進捗状況
第2回 令和元年10月下旬～ 11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・食育フェスタ実施計画 ・次期食育プラン作成に向けて（県による説明等） 他

2. くるめ食育フェスタの開催

市民への食育推進のシンボルイベントとして「くるめ食育フェスタ2019」を開催する。体験等を通して、市民の食育への関心の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践できるよう啓発を行う。

日 時：令和元年11月9日（土）、10日（日）

※第45回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

内 容：調理体験などの体験コーナー

食育関係資料などの展示コーナー

食に関する相談やクイズ など

3. 「食育友の会」食育啓発事業

・イベントや食育に関する情報提供（メールマガジン等）の実施。

4. 市民に対する食育啓発

・毎月19日の『食育の日』に「食育通信」を発送する。

（食育友の会、小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール）

・市内事業所向けに食育推進の啓発を行う。

・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として呼びかける取組を行う。

Ⅱ. 令和元年度食育推進会議予算（案）

（収入）

（単位：円）

項 目	H30予算	R1予算	比較増減	内 訳
市補助金	2,223,000	2,145,000	▲ 78,000	
雑入	0	0	0	預金利息
合 計	2,223,000	2,145,000	▲ 78,000	

（支出）

（単位：円）

項 目	H30予算	R1予算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	73,000	145,000	72,000	会議2回（謝金等）
事業推進費	2,150,000	2,000,000	▲ 150,000	食育フェスタ（開催費）
合 計	2,223,000	2,145,000	▲ 78,000	

第3次食育推進プランに基づく 平成30年度事業実績・令和元年度事業計画

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	1-1 ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育 【食と健康部会】	1-5 ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	1-7 ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育 【食の循環部会】	1-9 ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	1-10 ページ

《基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	----------	--------------------	-----

●個別施策1 食に関する指導の充実

①	久留米市栄養教諭等研究会の活動の推進	栄養教諭等が行う食育の授業や短時間の食育指導を市内全小中学校において実施し、食に関する指導の充実を図ります。	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭未配置の中学校において、1年生を対象に、配膳指導、遅食・偏食生徒への個別指導、食育啓発活動を実施。(10校/10校中)高牟礼中学校においては、1年生対象の食育講演会も実施した。	651	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導を充実する。	600	学校教育課
		料理教室の開催、保護者や教職員向けの通信等の作成・配布など、授業以外での食育推進活動についても支援し、その充実を図ります。	○「親子料理教室」において、食の重要性や地元農産物への理解を深めるよう、調理指導を行った。(実施校数:8校、参加人数174人) ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」を作成・配布した。(年3回) ○「朝ごはん摂取率」向上のため、学校が行う食育推進支援事業に対して助成を行い(実施校数:小11校)、未就学児とその保護者への啓発を実施した。(実施校数:小46校)		○食への関心を高める「親子料理教室」や「お弁当の日」を開催。 ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」の作成・配布(年3回)。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者、未就学児とその保護者への啓発。		学校教育課

●個別施策2 家庭への食育啓発の促進

①	食育啓発促進校のPTAが行う食育啓発への支援	食育啓発促進校に指定された学校(市内小中学校から年間5~6校)のPTAが行う食育啓発の取組を支援します。	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図った。 ＜H30年度促進校＞ 金島小・上津小・江上小・草野小・北野中・牟田山中 ＜活動実績＞ 食に関するアンケート、生活リズムカード 講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組など きなこ作り、おにぎりづくり、親子給食試食会 「自分で作る簡単朝ご飯」の授業実践 など	420	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図る。 ＜R1年度促進校＞ 田主丸小・荘島小・三潞小・大城小・諏訪中・青陵中 ＜活動予定＞ 食に関するアンケート、生活リズムカード 講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組など	300	学校教育課
		促進校に指定された学校が、成果や課題を次年度以降の取組に反映させるように支援を行います。	○促進校が継続的に取り組むことができるよう、情報提供や働きかけを行った。		○促進校が継続的に取り組むことができるよう、情報提供や働きかけを行う。		学校教育課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	----------	--------------------	-----

●個別施策3 学校給食を通じた食育の推進

①	給食時間における食に関する指導	学校給食が、教科等と関連した「生きた教材」として活用されるよう、給食時間における食に関する指導の年間計画を作成します。	○食に関する指導の年間計画に基づき、行事食、各地の郷土料理、世界の料理や、教科等でとりあげられた食品や学習したことが確認できる献立を実施した。 ○オリンピックキャンプ地誘致国の料理や、防災の日に災害食を体験する献立を入れるなどの工夫を行った。 教科等と関連した献立導入11回	-	食に関する指導の年間計画に基づき、教科等と関連付けた指導が行えるよう、献立の工夫を行う。	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスやかむこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として配布します。	○給食の献立に、「和食の日」「ファイバー献立」「カミカミ献立」を毎月とり入れ、繰り返し「給食」という体験を通じた給食時間における指導の内容充実を図った。 また、学校給食に関する標語の募集を児童生徒対象に行い、最優秀作品は献立表や給食便りに掲載した。 応募総数2,527作品 最優秀作品「給食室からいい匂い、今日のお出汁はいりこだな」	-	献立のねらいと「給食」という体験を通じた、給食時間における指導の内容充実を図る。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、給食だよりの発行や試食会の開催等で、家庭への食育啓発を行います。	○児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信した。 ○保護者や地域の方に対し、試食会を開催した。 ○入学説明会時にリーフレットを作成し就学前の家庭に配布した。	-	児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信する。また、保護者や地域の方に対し、試食会を開催する。	-	学校保健課
②	学校給食への久留米産農産物の導入促進	毎月2回、久留米産の米を使用した主食(ご飯、米粉パン)と旬の久留米産野菜を使用した副食による「地場産の日」を実施します。	○久留米産農産物を多く使用した献立「地場産給食の日」を、毎月2回実施した。久留米産米の消費拡大を図るとともに、久留米産農産物の利用拡大・普及啓発に努めた。 また、掲示物等で子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図った。	-	毎月2回、「地場産給食の日」の実施により、子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図る。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立を考案し、実施献立について工夫改善を行います。	○献立年間計画を基に、久留米産農産物を活用した新献立の開発、工夫・改善に努めた。 新献立導入数:26品	-	地産地消の推進などを目的として、久留米産米による米飯給食を週4回実施する。また、献立年間計画を基に、地元食材を使った献立の開発など、学校給食への久留米産農産物の導入促進を図る。	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施し、5月、11月に優勝献立を給食に取り入れた。 日程:平成30年8月17日(金) 参加チーム数:19チーム 1位:東国分小 2位:特別支援校 3位:浮島小	-	学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施する。 日程:令和元年8月20日(火)	-	学校保健課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	----------	--------------------	-----

●個別施策4 保育所、幼稚園、認定こども園での給食や活動を通じた食育の推進

①	子どもに適した給食の提供と食育活動の継続	各園で実施されている給食について、子どもたちの発育・発達、健康状態、生活状況などに応じて給食の提供が行われるよう、適切な食事計画や献立作成を行うための情報提供や研修等を実施します。	○施設向け研修会の実施(計15回/年) 公立保育所・5回(43人)・衛生管理、保育所・8回(492人)・離乳食、認定こども園・1回(13人)・衛生管理、保育所、認定こども園、幼稚園・1回(102人)・保護者の食支援 ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図った。	51,075	○施設向け研修会の実施(計15回/年) 公立保育所・5回、保育所・8回、認定こども園・1回 保育所、認定こども園、幼稚園・1回 ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図る。	56,102	子ども保育課
		各園の食育計画に基づいた食育実践の取組を継続するとともに、市食育事業に関する情報提供を行います。	○園児向け食育取組み状況(保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査の結果・複数回答) <取組をした項目・回答割合> クッキング保育・栽培及び収穫体験:91.7%、食べ物や栄養の話:85.4%		○各園において、食育計画等に基づき、クッキングや食育講話などの食育の取組を継続する。		
②	保護者への食支援	おたよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、保護者向け食育講座の開催など、保育所、幼稚園、認定こども園を拠点として、家庭を含めた保護者への食支援を行います。	○保護者向け食育取組み状況(保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査の結果・複数回答) <取組をした項目・回答割合> 食育だより85.4%、給食展示80.2%、給食試食会72.9%、食事相談47.9% ○出前講座 ・市栄養士による食育講座:8園(253人)、講話(乳幼児食)または調理実習(子どものお弁当)など ・食に関する外部講師による食育講座:2園(129人)、講話と調理実習(うどん作り)	62	○保育所や幼稚園、認定こども園に対する食育に関するアンケート実施及び食育講座(保育所や幼稚園、認定こども園の保護者対象に講話やクッキング)を行い食育啓発を行う。 ・保育所、幼稚園、認定こども園保護者向け食育講座(7月末):5園	134	子ども保育課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策5 子育て支援事業等を通じた食育の推進							
①	地域子ども 子育て支援 センター等 での食育事 業	食育講座、離乳食相談会の開催 など、地域子育て支援センター等 の子育て支援施設を拠点として、 子育て支援事業を通じて共食など 家庭での正しい食習慣の推進を 図ります。	○食育事業の実施 計21回(313人) ・地域子育て支援センターによる食育講座・4回(90人)・幼 児食の講話と調理実習 ・子育て交流プラザくるるんによる離乳食相談会・12回(90 人)離乳食の講話と個別相談 ・児童センターによる食育講座(乳幼児食の講話)・1回(46 人) ・子育て支援団体及び校区すくすく子育て委員会への出前 講座:4回(87人)、子どもの食事やおやつの講話や調理実 習(子どものお弁当)など	32	○子育て支援事業を通じて、共食など家庭での正しい食 習慣の確立のため啓発を行う。 ・地域子育て支援センターによる食育講座(乳幼児食の 講話及び調理実習) ・子育て支援団体及び校区すくすく子育て委員会等への 出前講座	30	子ども政策課 こども子育てサ ポートセンター
②	幼児の食に 関する情報 の提供	冊子やインターネットなど様々な ツールを使った幼児食レシピ等の 紹介や正しい食習慣についての 情報提供、食育イベント等での啓 発により、幼児の食に関する情報 提供を充実します。	○乳幼児の食に関する情報提供啓発冊子(子どもたちにた べさせたい料理レシピ:子どもにできる料理やお手伝いを含 めた親子クッキング)の配布 14,500部作成し、保育所や認定こども園、幼稚園の保護者 や未就園児をもつ保護者(食育事業への参加者)へ配布し た。 ○家庭での乳幼児の食事の参考となるよう、久留米市の ホームページに献立を掲載した。	265	○乳幼児の食に関する情報を提供するための啓発冊子 を作成し、保護者や市民に配布する。 14,500部作成・配布予定 ○久留米市のHPに未就学保護者対象にした食育講座 の献立を掲載して、家庭での乳幼児の食事の参考にして もらう。	414	子ども保育課
③	多様な暮ら しに配慮し た子どもへ の食支援	様々な事情を抱えた子どもへの食 事の提供や地域との交流などを支 援し、食生活の向上と望ましい食 習慣の形成を図ります。	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対し、運 営にかかる費用を助成した。 また、新たに夏休み期間や朝食の提供に取り組む団体への 補助を行った。 子ども食堂実施団体数:7団体 延べ実施回数:239回 延べ参加者数:7,458人	1,393	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対し、 運営または施設整備にかかる費用を助成する。	3,350	子ども政策課

《基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	----------	--------------------	-----

●個別施策1 次世代に伝えつなげる若い世代への食育の推進

①	高校生・大学生への食育推進	高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行った。 (実施校 6校:14回)	46	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行います。	225	健康推進課
		食に関する情報提供や食育イベント等で正しい食選択が出来るように支援します。	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図った。 (実施校 9校) ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)学園祭にて食と健康体験コーナーを設置した。 (実施日 平成30年11月3日)	43	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図ります。 ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)を予定	35	健康推進課
②	母子保健事業における食育推進	妊娠届出の際に、妊婦の健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、必要な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行った。 (届出数 2,670人)	—	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行います。	—	こども子育てサポートセンター
		離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活支援に努めます。	○離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図った。 (離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)44回)	—	○マタニティ教室や離乳食教室、子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図ります。 【マタニティ食事教室4回、離乳食教室33回 ゆったり子育て相談会48回 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)46回】	—	こども子育てサポートセンター

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策2 生活習慣病予防・改善のための食育の推進							
①	健康づくり を支える環 境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示などを行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、「くるめ健康づくり応援店アプリ」を配信し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めた。 (登録数178店、ガイドブック9,000部、アプリチラシ7,000枚ポスター300枚)	399	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、「くるめ健康づくり応援店アプリ」を配信し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	529	健康推進課
②	地域におけ る生活習慣 病予防のた めの食育の 推進	食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行った。「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図った。 (実施回数115回、参加者数1,958人)	1,877	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図ります。	1,874	健康推進課
③	健診事業に おける食育 推進活動	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事などの情報提供を行います。	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行った。 (健康管理ブック配布数 23,000部)	—	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行います。	—	健康推進課
		特定保健指導や糖尿病予備軍・高血圧予備軍を対象とした保健指導や教室を実施します。	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施した。(特定保健指導、早期介入保健指導、血圧改善支援事業、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	—	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施します。 (特定保健指導、早期介入保健指導、血圧改善支援事業、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	—	健康推進課 地域保健課
④	高齢者事業 における食 育推進	介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報発信に努めます。	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行った。 (口からはじまる健康長寿講座 3会場各6回 参加者延272名) (認知症予防講座 3会場各3回 参加者延195名) (おたっしや出張講座 180回数 参加者数 3,396名)	—	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行います。(口からはじめる健康長寿講座、認知症予防講座、おたっしや出張講座、口の元気アップ出張講座)	—	長寿支援課

《基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進							
①	農業体験の場の提供	市内の小学校での学童農園活動を支援し、小学校での農業・農村への理解促進を図ります。	○農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援し、児童の農作業体験や農業への理解促進を図った。 (実施校:39校/46校)	3,900	○児童の、農業生産者との交流及び農業への理解を深めることを目的に、農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援する。	4,600	生産流通課
		小学校を中心に、本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能などを学ぶ農業体験学習を推進します。	○久留米産農産物の学校配布事業(平成30年度は梨の配布とあわせて、JAくるめサラダ菜部会によるサラダ菜の配布も同時実施)に併せて、多面的機能のチラシを配布した。 ○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザで農業の多面的機能パネルの見学通路での常設展示を実施した。 ○久留米市立中央図書館の農業関連コーナーにて農業の多面的機能のパネル展示、多面的機能チラシの設置を行った。	656	○本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能についてのチラシを作成し、久留米産農産物の学校配布事業(令和元年度は梨の配布を予定、加えてJAくるめサラダ菜部会によるサラダ菜の配布も同時実施予定)に併せて配布する。 ○宮ノ陣クリーンセンターの見学通路を活用し、農業の多面的機能や食育のパネル展示を実施する。 ○久留米市立中央図書館の農業関連企画展にて農業の多面的機能のパネル展示、多面的機能チラシの設置を行う。	660	農政課
		土づくり広場での農業体験を実施するとともに、農業者が行う消費者交流事業を支援します。特に、栽培過程全体を体験することで農業への理解を深めることができるように事業の見直しを推進します。	○市民に土づくり学習の機会やジャガイモ、れんげ等の作付・収穫等の農業体験を行い、食育及び環境保全型農業への理解を促進した。 (参加者:約50名)	860	○市民がJAくるめ西部土づくりセンターでの土づくり学習、及び同センターで製造された良質堆肥を使用して栽培された作物の収穫体験等を実施し、食育について学び、市民の環境保全型農業への理解促進と、食と農に対する理解向上を図る。	1,000	生産流通課
②	食と農の情報発信	農業まつりの開催による生産者と消費者の交流や農業・農村の多面的機能について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	○第44回ふるさとくるめ農業まつりを11月10日(土)、11日(日)に開催し、体験コーナー、パネル展示を通し、市民へ情報発信を行った。 (来場者68,000人)	9,434	○農業まつりや地域の農業関係イベントで農業の多面的機能や、地産地消の取組について紹介する。	10,079	農政課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策2 地産地消の推進							
①	地産地消を進める環境整備	市民や事業者に久留米産農産物であることを分かりやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○JAくるめ、JAみづまに対し、支援を行った。 JAくるめ:ほうれん草、水菜、小松菜の包装用フィルム、フリーズドライ味噌汁の包装用フィルム JAみづま:はとむぎ味噌シール	788	○久留米産農産物の認知度向上を目的に、ロゴマーク「キラリ久留米(くるっば)」を活用した、久留米産農産物の包装資材やシールの作成に対する支援を行う。	1,200	農政課
		地産地消推進店等での、久留米産農産物の表示の支援を行い、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○直売所PR資材(のぼり、垂れ幕、パネル)を作成し、久留米産農産物の販売コーナーの表示強化を行った。 ○久留米産農産物PR動画「くるめさん、ぐるめさん」をJAの直売所やインショップに設置した電子POPモニターで放映し、久留米産農産物表示の強化を行った。 電子モニター設置店:14店舗、 ○地産地消推進店の冊子を作成する(4,000部)	1,523	○JAの直売所やインショップなどで、個々の店舗に応じた、久留米産農産物のPOP等を作成し、表示の強化を行う。 ○久留米産農産物PR動画「くるめさん、ぐるめさん」をJAの直売所やインショップに設置した電子POPモニターで放映し、表示の強化を行う。 ○地産地消推進店の冊子を作成する(4,000部)	985	農政課
②	地産地消の意識啓発	地産地消をテーマにした料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消への意識向上を図ります。特に、男性や子育て世代への参加を促進します。	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域にて久留米産農産物を使った料理講習会を30回を開催した。 (男性参加者:64名/610名)(子育て世代参加者:23名/610名) ○ABC Cooking Studioに業務委託し、ゆめタウン久留米にて子育て世代向けの料理講習会を開催した。 (男性参加者:9名/32名)(子育て世代参加者:28名/32名) ○商工会議所と連携し、期間限定で久留米産農産物を使ったメニューを提供する飲食店を巡るスタンプラリー「くるめグルメフェア」を開催し、参加した飲食店等を利用した消費者に抽選で久留米産農産物のプレゼントを行った。 (参加店舗:12店舗) (スタンプラリー当選者:12名) ○久留米産農産物を使った料理レシピ集を作成し、公共施設やイベント、関係団体等を通じて配布した。 (久留米産農産物レシピ集:3,600部)	2,179	○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域にて久留米産農産物を使った料理講習会を実施する。 ○商工会議所と連携し、地産地消推進店に期間限定メニューの提供を依頼し、該当の地産地消推進店を利用した消費者に抽選で農産物の配布を行うくるめグルメフェアを開催する。 ○久留米産農産物のレシピ集の作成(3,600部)	1,905	農政課

《基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 食と環境について考え学べる食育							
①	環境まなび のまちづくり の推進	生ごみ堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、小中学校等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を未実施の小中学校や地域に拡充し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験やエコ・クッキングを通して、「命を大切に作る心」「もったいないの心」と「ものを大切に作る心」を育む取り組みを進めた。 派遣回数:22回 参加者数1,150人 派遣施設:19施設 (保育園9・小学校6・中学校1・地域3)	116	○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を、未実施の小中学校や地域に拡充するため、全小中学校に事業案内を配布し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験やエコ・クッキングを通して、「命を大切に作る心」「もったいないの心」と「ものを大切に作る心」を育む取り組みを進める。	263	資源循環推進課
		生ごみリサイクルによる土作りから野菜の植付・収穫、収穫した野菜を使ったエコ・クッキング教室を行うことで、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会を提供します。	○安武百祥会養春園の畑を活用し、家庭から出る生ごみを持ち寄り、生ごみリサイクルでの土づくり、野菜作り、野菜の収穫体験を安武百祥会と協働にて行った。 また、収穫した野菜や日頃何気なく捨てている野菜の皮等を使ったエコ・クッキング教室を久留米信愛短期大学フードデザイン学科の学生が講師として参加し、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会とする。 全4回:延べ参加者数148名	41	○安武百祥会養春園の畑を活用し、家庭から出る生ごみを持ち寄り、生ごみリサイクルでの土づくり、野菜作り、野菜の収穫体験を安武百祥会と協働にて行う。また、収穫した野菜や日頃何気なく捨てている野菜の皮等を使ったエコ・クッキング教室を久留米信愛短期大学フードデザイン学科の学生が講師として参加し、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会とし、対象者を昨年度の安武校区から、近隣の大善寺・荒木校区へ拡充する。	68	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促した。併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図った。 レベルアップ講習会:2回 参加者数:42名	26	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促す。併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図る。	23	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、リサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります。	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザでの講演会等を開催した。 ○環境学習の拠点として整備された同プラザにおいて環境学習等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図った。 各種講習会:14回 参加者数:324人 3R学習会:17回 参加者数:1,703人	195	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザでの講演会等を開催する。 ○環境学習の拠点として整備された同プラザにおいて環境学習等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図る。	316	資源循環推進課
		食やエネルギーを無駄にしない環境にやさしい料理講習会を開催し、環境に配慮する食生活を推進します。	○食品ロスについての理解を深め、作り過ぎない、野菜の皮を厚くむくなど過剰な除去を減らす、無駄なく食べきるための方法、廃棄をなくするための保存方法などを学べる場を提供した。 講座3回 食育フェスタ41人・食育講座・71人 ・親子で食育42人 参加延べ人数:154人	-	○食品ロスについての理解を深め、作り過ぎない、野菜の皮を厚くむくなど過剰な除去を減らす、無駄なく食べきるための方法、廃棄をなくするための保存方法などを学べる場を提供する。	-	資源循環推進課

《共通施策 食育への理解と関心を高める》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H30年度実績報告	30年度 決算額 (千円)	R1年度事業計画	元年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	----------	--------------------	-----

●個別施策 市民全体を対象とした情報発信

①	食育に関する事業・イベント等の 情報提供	市民への食育啓発のシンボルイベントとして「食育フェスタ」を開催します。	○くるめ食育フェスタ2018の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催により、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行うことを目指した。また、市民団体との協働により開催した。 日時:平成30年11月10日(土)、11日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル 参加者:68,000人(10日33,000人、11日35,000人)	2,094	○くるめ食育フェスタ2019の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催により、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行うことを目指す。また、市民団体との協働により開催する。 日時:令和元年11月9日(土)、10日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル	2,000	農政課
		食育通信の発行や市ホームページ、広報誌を活用し、市民への食育に関する情報を積極的に発信します。	○毎月19日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、商工政策課が発行している産業ニュース(メールマガジン)にて食育推進の啓発を行った。	—	○「食育友の会」に対して、イベントや食に関する様々な分野の情報を発信する。 ○商工労働ニュースや産業ニュース等を活用し、職場での食育の取組について啓発を行う。	—	農政課

第3次食育推進プランに基づく 目標指標の進捗状況

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	2-1	ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育 【食と健康部会】	2-2	ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	2-2	ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育 【食の循環部会】	2-3	ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	2-3	ページ

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 H32年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	栄養教諭等が食育の授業や短時間の食育指導を実施した学校数の総計	%	53/63校 (84%) H27年度	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	+10校 (+16pt)	学校教育課
個別 施策 2	食育啓発促進校に指定された学校の総計	%	34/63校 (54%) H27年度	39/63校 (62%)	44/63校 (70%)	56/63校 (89%)	63/63校 (100%)	+22校 (+35pt)	学校教育課
	朝食を欠食する小・中学生の割合	%	小学生 1.2% 中学生 1.9% H27年度	小学生 1.5% 中学生 2.8%	小学生 1.6% 中学生 2.3%	小学生 1.9% 中学生 2.8%	小学生 0.8% 中学生 1.8%	小学生 +0.7pt 中学生 +0.9%	学校教育課
個別 施策 3	残食率の平均値	%	小学校 米 2.4% パン 3.4% 副食 2.2% 中学校 米 4.7% パン 3.5% 副食 3.2%	小学校 米 2.3% パン 3.1% 副食 2.4% 中学校 米 2.4% パン 2.5% 副食 1.7%	小学校 米 2.4% パン 3.0% 副食 2.4% 中学校 米 1.3% パン 0.9% 副食 0.9%	小学校 米 2.3% パン 2.6% 副食 2.5% 中学校 米 1.5% パン 1.3% 副食 1.0%	小学校 米 2.0% パン 3.0% 副食 2.0% 中学校 米 4.0% パン 3.0% 副食 3.0%	小学校 米 +0.1pt パン +0.8pt 副食 ▲0.3pt 中学校 米 +3.2pt パン +2.2pt 副食 +2.2pt	学校保健課
	学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合	%	49% (470t/959t)	44% (400t/903t)	46% (458t/995t)	46% (442t/971t)	50% (20t増)	▲3% (28t減)	学校保健課
個別 施策 4	保護者に対して2種類以上の食育啓発を行っている保育所・幼稚園・認定子ども園の割合	%	83.5% (81/97園)	91.7% (88園/96園)	87.5% (84/96園)	91.7% (88園/96園)	100% (96/96園)	+8.2% (+7園)	子ども保育課
個別 施策 5	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	12.7回/週	12.5回/週	+1回/週	▲0.2回/週	こども子育てサポートセンター

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 H32年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	食育の取組を行う高校・大学の割合	%	72% (13/18校)	67% (12/18校)	72% (13/18校)	72% (13/18校)	100% (18/18校)	±0	健康推進課
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の「一週間当たりの共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	12.7回/週	12.5回/週	+1回/週	▲0.2回/週	こども子育てサポートセンター
個別 施策 2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	%	56.7%	57.5%	52.8%	51.3%	75%	▲5.4pt	健康推進課

基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 H32年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	農業・農村の多面的機能について学ぶ小学校の割合	%	0% (0/46校) H27年度	0% (0/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	+100pt	農政課
個別 施策 2	地産地消を意識している市民の割合	%	49.4%	56.8%	57.2%	56.1%	65%	+6.7pt	農政課
	料理講習会の男性参加率と子育て世代の(40歳代までの)参加率	%	男性 11.2% 子育て世代 5.6%	男性 8.8% 子育て世代 13.3%	男性 9.1% 子育て世代 13.4%	男性 12.0% 子育て世代 8.4%	男性 17% 子育て世代 12%	男性 +0.8pt 子育て世代 +2.8pt	農政課

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 H32年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	生ごみリサイクルに取り組む団体数	件	92件	106件	111件	113件	121件	+21件	資源循環推 進課

共通施策 食育への理解と関心を高める

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	実績 H30年度	目標 H32年度	基準年 比較増減	担当課
個別 施策 1	食育に関心を持つ市民(20歳代、30歳代)の割合	%	68%	72.9%	89.3%	89.2%	73%	+21.2pt	農政課